

2011年8月10日

ニュースリリース  
株式会社五藤光学研究所

## 石川県柳田星の観察館「満天星」 ハイブリッド・プラネタリウムにリニューアル

株式会社五藤光学研究所（取締役社長：五藤 信隆、東京都府中市）は、石川県柳田星の観察館「満天星」（石川県鳳珠郡能登町）に「パンドラ・ハイブリッド」を納入、設置した。同システムは高輝度LEDを採用した小型恒星投映装置「パンドラ」と全天周デジタル映像システムにより構成される「ハイブリッド・プラネタリウム」である。

同施設は7月23日（土）より一般公開されている。

---

株式会社五藤光学研究所（取締役社長：五藤 信隆、東京都府中市）は天文機器に関する総合メーカーである。1926年の創業時は小型天体望遠鏡を製造。1959年には光学式プラネタリウムの開発に成功し、日本及び世界各地に同設備を納入している。2004年からは光学式プラネタリウムと全天周デジタル映像システムを融合させた「GOTO ハイブリッド・プラネタリウムシステム」を開発し、国内外に数多くの納入実績がある。

石川県柳田星の観察館「満天星」は青少年の健全な育成と交流を図ることを目的とし、1993年（平成5年）、直径12m水平型プラネタリウム「G1014si（五藤光学製）」を有する星の観察施設として開館。2011年（平成23年）、老朽化したプラネタリウムを「パンドラ・ハイブリッド」に更新した。

今回納入した「パンドラ・ハイブリッド」は、高輝度LEDを採用した小型恒星投映装置「パンドラ」と、独自のノウハウによる全天周デジタル映像システムを融合した「ハイブリッド・プラネタリウム」で、従来機よりも恒星や天の川の描写、映像の投映機能、操作性等が向上した。

小型恒星投映装置「パンドラ」は直径約50cmで従来よりも小さくなった。恒星数は約4000万個（天の川恒星を含む）にも及び、自然で美しい星空を実現している。同時に設置されたコンソール（操作卓）では、各機器の操作は勿論、光学式の星空と全天周デジタル映像システムから投映される88星座絵や星座線を一体的に制御し、プラネタリウムの多彩な

演出も容易になった。さらに全天に非圧縮の映像を再生することもできる。

同館へは能登空港 I.C から車（有料道路）で約 25 分。その他の情報は同施設の H P をご参照下さい。

〒928-0312 石川県鳳珠郡能登町上町口 1-1 やなぎだ植物公園内  
オフィシャル H P <http://mantenboshi.jp/>

---

#### < 解説 >

株式会社五藤光学研究所（GOTO INC）

プラネタリウム、大型映像システム、天体望遠鏡製造のトップメーカー。特にプラネタリウムでは国内シェアの約 7 割を占めている。全天周フィルム映像（アストロビジョン）や 3 D デジタル映像装置（バーチャリウム）を他社に先駆けて開発、発表する他、機器設備の能力を活かした映像コンテンツ制作も行う「ドーム空間のトータルクリエイター」である。

〒183-8530 東京都府中市矢崎町四丁目 16 番地  
オフィシャル H P <http://www.goto.co.jp/>

石川県柳田星の観察館「満天星」

石川県柳田星の観察館「満天星」は、柳田村の恵まれた自然と見渡す限り遮るもののない視界の良さを活用した星の観測施設である。同施設はやなぎだ植物公園内にあり、プラネタリウムの他に花菖蒲園やレストラン、天体観測ドームを有した宿泊施設（アストロコテージ）などが隣接している。

〒928-0312 石川県鳳珠郡能登町上町口 1-1 やなぎだ植物公園内  
オフィシャル H P <http://mantenboshi.jp/>

ハイブリッド・プラネタリウム（HYBRID PLANETARIUM）

株式会社五藤光学研究所が開発、提唱する新しいプラネタリウムシステム。光学式プラネタリウムと、様々な迫力ある映像を投映する全天周デジタル映像システムを組み合わせ、各々が常に同じ座標空間を投映できる仕組みを有するもので、国内外に数多くの納入実績がある。同システムは、「ケイロン」「スーパー・ヘリオス」「クロノス」「パンドラ」などドーム径に応じた光学式投映機を有しており、ドーム径 6m から最大 50m まで幅広く対応している。同システムを構成する「パンドラ」は、これまでに羽田空港国際線旅客ターミナル「Planetarium Starry Café」、平塚市博物館に納入されているが、北陸への納入は今回が初となる。

ハイブリッド・プラネタリウム (HYBRID PLANETARIUM) およびケイロン (CHIRON)、  
クロノス (CHRONOS) は、株式会社五藤光学研究所の登録商標です。

以 上